

(各チーム3名以内
いた口の中の水やレ

ーは、1名のみと
わせ事項による)

系に預けておくこと。
の笛とともに、サイ
はノーサイド精神

すること。特に、過
受診させること。
は、身体活動の異常
退場させる。試合中
報告の義務がある。
を除き、試合、練習

れている。各自、各
スポーツ安全保険」

を脱ぎ、服装の乱れ
と協会通達を総

他服装規定に反し

いたパンツを着用

脱く隆起している
ッドの場合には、

は単色とし、柄お
は着用できない。
色の物、または白

ること。
の付いたもの
判断する。

ジャージの損傷、

のないもの一式)

メンバーが着
る。その他のリ

と。胸にマーク

るので、前立の

れたもの等一切

(6) 背番号を縫い付けた場合には、四隅だけでなくしっかりとジャージに縫い付けて、試合中取れないようにすること。また、縫い付けとプリントの混在は認めない。

(7) 広告の入ったジャージ、パンツ、トラックスーツ等を着用する場合には、チームから競技場に対して広告料を支払う義務が生ずるので、あらかじめ承知置き頂きたい。

3. プレーヤーの着こなし

(1) 参加選手は全国のラグーマンの代表としてふさわしい服装、身だしなみを心がける。

(2) 選手は以下の着こなしを遵守すること。レフリーや競技役員から指摘される前に、各自、各チームで直すこと。

①ソックスはきちんと上げる。試合中ずり落ちないようにテープ等できちんと止めること。

②パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れる。

③ジャージのエリを内側へ折り込まない。ラグビーはエリのあるスポーツである。

④ジャージのソデを極端にたくし上げたり、テープで止めたりしない。

(4) プレマッチミーティング前後に、レフリー及び競技役員がドレス・チェック（服装、スタッド等の検査）を行う。選手は、レフリーと競技役員の指示に従うこと。

(5) ドレスチェックで不許可となったものを競技区域で着用していた場合には、その時点で「競技規則」第4条7(c)により退場となる。

(6) 服装規定に関して不明な点は事前に大会実行委員会まで問い合わせをする等、当日のドレス・チェックの際にトラブルが起きないように、事前の徹底、再確認を充分しておくこと。

4. ラグビー・マナー

(1) レフリーへの批判、選手への感情的発言・暴言、セルフジャッジ……等々、非紳士的行為と言動は厳禁する。選手以外の監督・コーチ、その他のスタッフ、応援団も同様に禁ずる。試合中は静かにプレーし、観戦する。この日グラウンドに集った全てのラグビー仲間への敬意と尊敬の念を忘れないこと。

(2) 開会式・キャプテン会議・代表者会議など本大会の行事にはタイ着用の正装で臨むこと。

(3) 選手はなるべく公共交通機関を利用して来場し、往復途上の事故等による遅れのないように心がける。

(4) 会場への往復途上のジャージ姿、サンダル履き等は厳禁する。

(5) 会場への往復の際、ボール、やかん、空気入れ等の用具類は、ムキ出しで持ち運ばないこと。

(6) 更衣は定められた場所で行い、また、ロッカーエリア外には裸体で出てはならない。更衣室の後始末は、各チームで責任を持ってきちんと行なうこと。たとえ自チームが汚したものでない場合でも清掃し、清潔保持に努めて頂きたい。

(7) 大会会場（グラウンド内、更衣室とグラウンドとの往復等を含む）では裸体で歩かないこと。公共空間でのマナー保持には充分注意すること。

(8) ゴミ（グラウンド内ばかりでなく更衣室のゴミも含む）は、会場内のゴミ箱に捨てず、必ず各自、各チームで持ち帰ること。チームはゴミ袋を用意し、全てのゴミを持ち帰ること。

(9) 会場内は、グラウンド、更衣室、交歓会会場、駐車場、その周辺区域を含めて全面禁煙とする。特に、ジャージ姿のままでの喫煙は厳禁する。

(10) 会場周辺の公道への違法駐車は厳禁する。会場整理の係員の指示に従うこと。

(11) チームのミーティングは、交歓会等の公式行事が終わってから行なうこと。

メディカル・サポーター／水係り

(1) 各チームは、有資格のメディカル・サポーター（認定証を持参）を必ず帯同して用意すること。リザーブ選手、スタッフとの兼任を禁ずる。無線機を使用する場合には必ず周波数を大会本部に申告し、レフリーと混信が生じないように注意すること。

(2) 試合前にレフリー、タッチジャッジ、マッチドクター等と十分な打ち合わせをし、負傷者発生の場合でゲームの中断を求める場合に備えてレフリー及び大会役員と「シグナル」の確認を行ない、適切な行動がとれること。

(3) メディカル・サポーターの他に水係（3名以内）がグラウンドに入ることができる。但し、任務は水入れのみとし、無線機等の使用はできない。

(4) メディカル・サポーター、水係は、自チームの応援をしたり、指示の声を出したりしてはならない。コーチが兼任することを禁ずる。コーチとは登録上のコーチならびにコーチングスタッフ全員を指し、彼らの指示を伝達する者も含まれる。これらの者の不行跡は、競技区域からの退場の対象となる。

(5) メディカル・サポーター、水係は、大会本部から貸与する所定のビブスを着用すること。

ホームチームの定義／ジャージが同系色の場合の処理

(1) ホームチームの定義／ホームチームとは、組み合わせ表の右側（＝下側）のチームを指す。

(2) ホームチームの役割／ホームチームは、相手チームと連絡を取り合い、試合1週間まえまでに、レフリーに確認の連絡を入れること。連絡事項は、期日、キックオフ時間、場所の他に、当日両チームが着用するジャージの色を必ず通知すること。

(3) アフタマッチミーティングでは、ホームチームが進行に責任を持つこと。

(4) ジャージが類似した場合／ジャージが同系色の場合には、以下の順序で着用するウエアを決める。

①ファーストジャージが類似した場合には、両チームともセカンドジャージ。

②セカンドジャージが類似した場合には、ホームチームがセカンドジャージ、ビジターチームがファーストジャージ。

③それでも類似した場合には、ホームチームがファーストジャージ、ビジターチームがセカンドジャージ。

④それでも決まらない場合には、大会実行委員会が指定した方法で決める。

(5) 両チームで話し合ったジャージ色は、必ず大会本部の承認を得ること。